



鶴

乃

年段の
園基

園
園
園

上

13
2378
295

板



遠3好
2378
295

歌川貞虎画
瓢亭種繁作



田其春手段鶴巢籠

上

丙申
孟春

馬喰町
西村屋板



改遣火の煙蕙合頃より門竝の灑掃端居儲いと清はの團扇の
 風と快とてあのが隨意親友の集て娘連の俳優者の身具之員
 若衆の誰が強の角舐論八宗競の老波女の圓居まゝ恒産のそれくお
 得失語有が中市中の隠る不知あゝ雲井の琴の調の音まをわたり
 思ひの一卓文君うと疑ののろろ微見のろろ無親さる身の程の芥
 川を渡武藏野の龍一さ思やうれて秉燭其地其時の塩梅を惟
 寸陰を追馳廻る歌讀詞交同消晷昔の手段のそらぐ餘閑を樂田
 其の趣の波羅奈国の過より芥の柄の朽も考及長譚短毫小
 あやつて一寸と條を寫とる下手の堪息ふ似と責口を塞ののり

天保七年丙申孟春發行
 儀の依浪
 着流渡の
 瓢亭種繁系

まごめり



鳥 床 夜 城

路 乃
う ぐ 哉

福徳屋
富右衛門



竹葉野姓
僕直藏

續後撰
あせを尾むかひのし草のなま
ねとみる家ののまへんぬし

ちをけちう
千尋赤家浪人
竹葉野露之進

竹葉野
露路之進
娘
阿玉



九

九



邯鄲諸國物語大和の巻
前帙四冊春出板 後帙四冊暮發行
 柳亭種彦作

花陰賤之俳優
種彦校 全四冊
 笠亭仙果作

大石寺本蝶千鳥綴錦
八冊
 柳亭種彦作

田碁手阪鶴巢籠
全四冊
 瓢亭種繁作

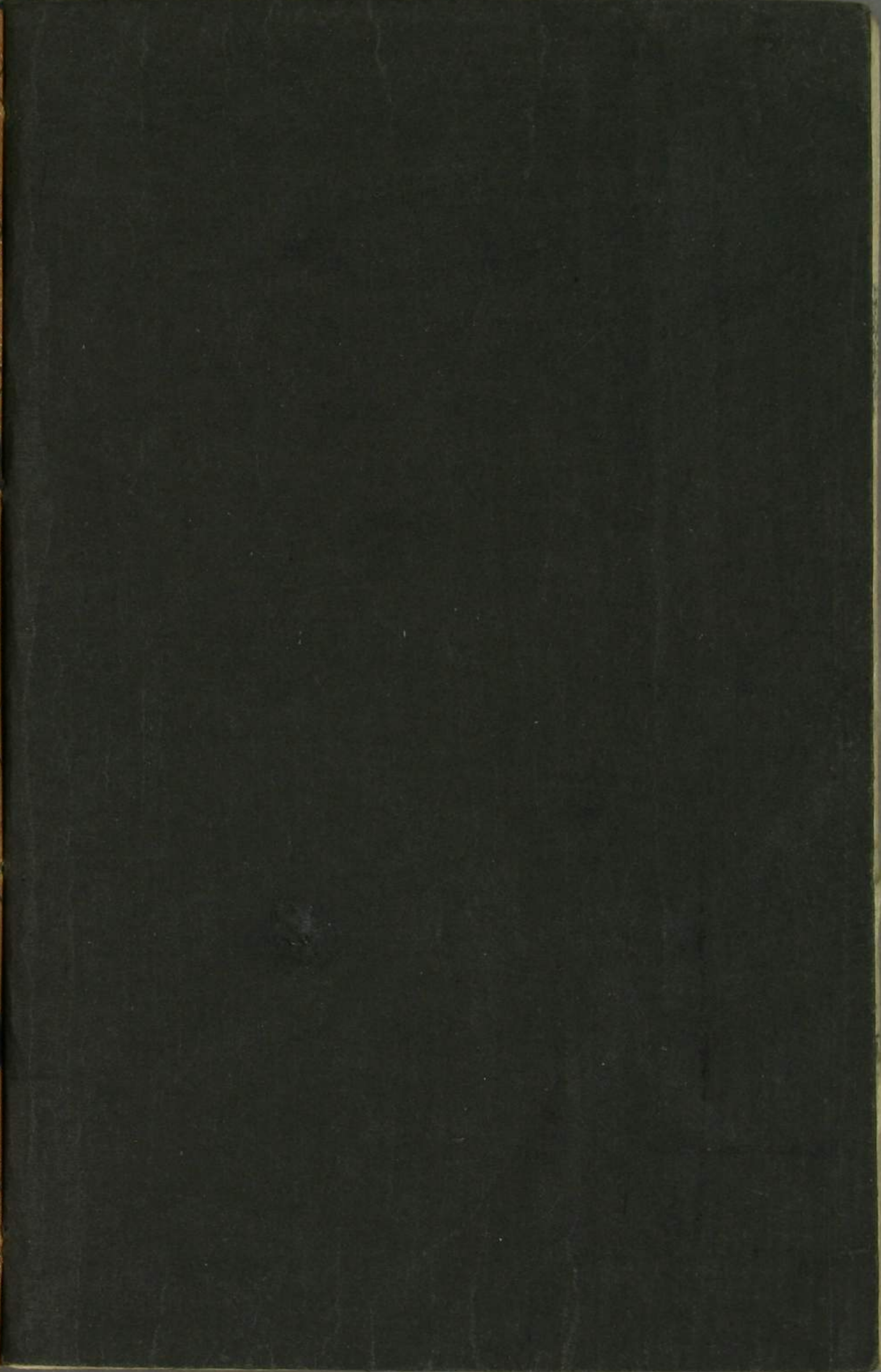
增補花紅葉一對若衆
全四冊
 柳亭種彦作

國字水滸傳
第十四編 四冊
 笠亭仙果譯

正本製初編後帙
大切まで 再刻
 柳亭種彦作

書物地本錦繪團扇地紙問屋
馬喰町 貳丁目
 永壽堂西村屋與八

天保七年丙申春新刻





三の巻のあはれ
 ちかみちのいづれ
 ちかみちのいづれ
 あはれのかげの
 こころのいづれ
 まるのいづれ

あはれのかげの
 こころのいづれ
 まるのいづれ
 あはれのかげの
 こころのいづれ
 まるのいづれ

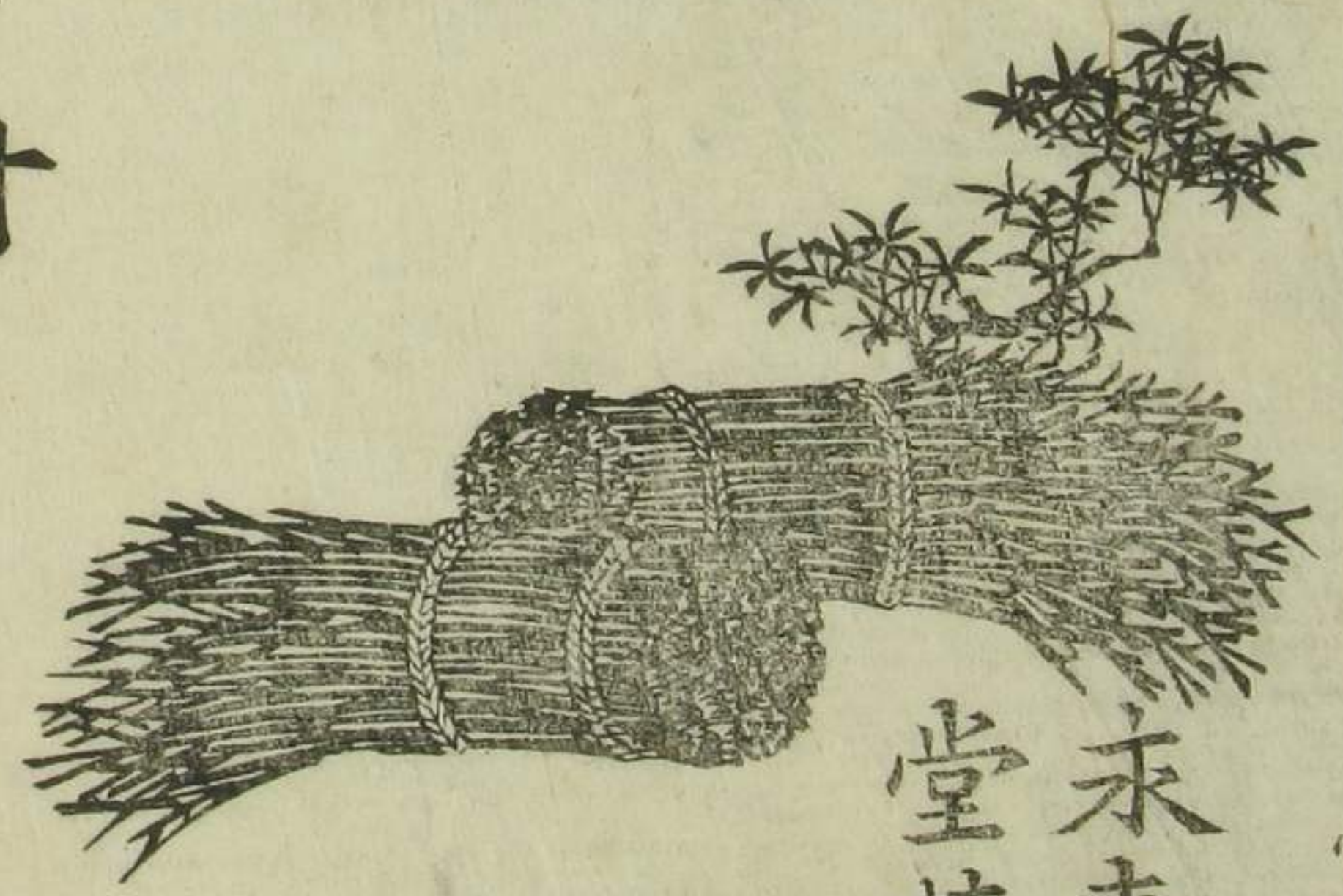


鶴乃
 志生

種
 貞
 虎
 画
 作

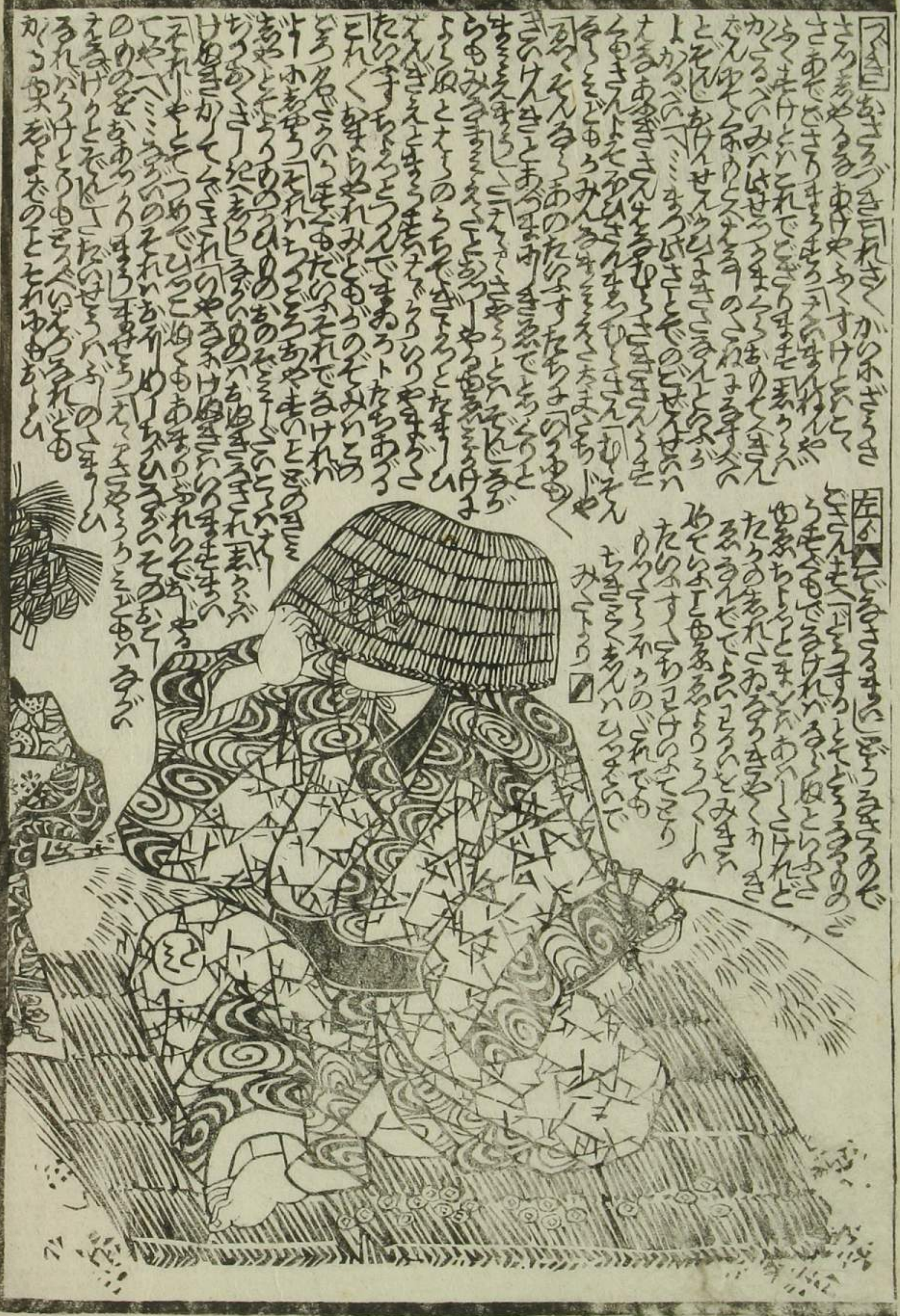
まへ

下冊



永
 堂
 梓
 壽





左の...
 右の...
 上の...
 下の...

十四

十四



上の...
 下の...
 左の...
 右の...

下の...
 左の...
 右の...

Handwritten text in a cursive script, likely a form of Japanese calligraphy, arranged in vertical columns. The text is densely packed and covers most of the page area.



Handwritten text in a cursive script, similar to the right page, arranged in vertical columns. The text is densely packed and covers most of the page area.



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the left page.



Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration on the right page.





二十

二十



二十

二十

